

心情読解プログラム「人の心を想像し、自分の生き方を考える」

キット02：各時の授業案（全7時間）

- 著者：秋元進吾
- 対象の目安：小学校高学年～中学生（塾・家庭学習・自由授業向け）
- 各時間は45分想定：導入（5分）→ 展開（30分）→ まとめ（10分）
- 読み上げ用の導入原稿・対話例台本はキット04、配布用ワークシートはキット03を参照してください。

第1時『ごんぎつね』（新美南吉）

- ねらい：伝えたい心と誤解される悲しみを想像する。
- 中心発問：「ごんはなぜ兵十に近づいたのだろう？」

進行の流れ

区分	時間	活動
導入	5分	「伝えたいのに伝わらなかった経験」をペアや親子で交流する。
展開	30分	場面音読（ごんが栗を届ける場面）→ 出来事・兵十の気持ち・ごんの気持ちを板書に整理 → 中心発問 → ワークシート記入 → グループで共有。
まとめ	10分	「ごんの気持ちは兵十に伝わった？伝わらなかった？」を発表し、「伝えたいのに伝わらない」心情で締める。

板書計画

ごんの気持ちを考えよう

できごと：いたずら → 反省 → 栗を届ける

兵十の気持ち：喜び → 誤解 → 怒り

ごんの気持ち：伝えたいのに伝わらない

考え：ごんはなぜ兵十に近づいた？

第2時『大造じいさんとガン』（椋鳩十）

- **ねらい**：対立の中にも生まれる心情の変化（敵への敬意）を理解する。
- **中心発問**：「なぜ大造じいさんは残雪を撃たなかったのだろう？」

進行の流れ

区分	時間	活動
導入	5分	「ライバルに尊敬を感じた経験」を交流する。
展開	30分	音読 → 大造じいさんと残雪の気持ちを比較して板書に整理 → 中心発問 → ワークシート記入 → 全体で共有。
まとめ	10分	「敵対していても相手に敬意を抱くことがある」ことについて、自分の経験と結びつけて考えをまとめる。

板書計画

敵への心の変化を考えよう

大造じいさん：倒したい → 敬意をもつ

残雪（ガン）：逃げる → 生き抜く

考え：なぜ撃たなかったのか？

第3時『注文の多い料理店』（宮沢賢治）

- **ねらい**：高揚から不安・恐怖へ変わる心情の流れをつかむ。
- **中心発問**：「注文が増えるたびに、紳士たちはどんな気持ちになった？」

進行の流れ

区分	時間	活動
導入	5分	「ワクワクが不安に変わった経験」を共有する。
展開	30分	音読（“注文”が増えていく場面）→ 紳士の心の変化を時系列で板書に整理 → 中心発問 → ワークシート記入 → ペアで確認。
まとめ	10分	「不安や恐怖は人をどう動かすか」を共有し、恐怖は人を止めることも、気をつけさせる力にもなるとまとめる。

板書計画

紳士の心の変化を考えよう

初め：自信满满（高揚）
注文が増える：不安 → 恐怖

考え：紳士たちはどんな気持ちになった？

第4時『雪女』（小泉八雲・再話）

- ねらい：人の弱さと、相手を信じたい気持ちのせめぎあいを想像する。
- 中心発問：「雪女はなぜ去ったのだろうか？」

進行の流れ

区分	時間	活動
導入	5分	「約束を守った／守れなかった経験」を交流する。
展開	30分	音読（約束の場面→約束を破った場面）→ 男と雪女の心情を板書に整理 → 「男はなぜ約束を破ってしまったのか」「雪女はなぜ去ったのか」を発問 → ワークシート記入 → グループ共有。
まとめ	10分	「約束を守ることと、守れなかったときの相手の気持ち」について考えをまとめ、約束の大切さを自分の生活に結びつける。

板書計画

約束と心の揺れを考えよう

男：雪女との約束 → 守るが最後に破る

雪女：信じたい → 裏切られ去る

考え：雪女はなぜ去ったのか？

第5時『走れメロス』 前半（太宰治）

- ねらい：友情と信頼の意味を読み取る。
- 中心発問：「なぜメロスは友を人質にしたのか？」

進行の流れ

区分	時間	活動
導入	5分	「友にすべてを任せる／任される気持ち」を共有する。
展開	30分	音読（王に捕らえられる場面）→ メロスと友（セリヌンティウス）の心情を板書に整理 → 中心発問 → 「セリヌンティウスはどんな気持ちだったか」も問う → ワークシート記入 → 全体共有。
まとめ	10分	「友情って何だろう？信じるってどういうこと？」を話し合い、信頼関係の意味を確認する。

板書計画

メロスの心情を考えよう（前半）

① 王に捕らえられる

メロス：友を信じる

セリヌンティウス：命を預ける

考え：なぜ人質を友に頼んだ？

第6時『走れメロス』後半（太宰治）

- **ねらい**：絶望から希望へ変わる心情を追う。
- **中心発問**：「なぜ走り続けられたのか？」「再会した二人はどんな気持ち？」

進行の流れ

区分	時間	活動
導入	5分	「あきらめそうになってもやり抜いた経験」を交流する。
展開	30分	音読（走る場面～再会）→「もうだめだ」→「裏切れない！」の心情の転換と再会場面を板書に整理→発問1「なぜ走り続けられたのか？」→発問2「再会した二人はどんな気持ち？」→ワークシート記入→発表。
まとめ	10分	「メロスとセリヌンティウスの友情を、自分の友達との関係に当てはめるとどう思うか」を発表し、友情の力を全員で共有する。

板書計画

メロスの心情を考えよう（後半）

② 走る途中：「もうだめだ」→「裏切れない！」

③ 再会：友情・信頼の喜び

考え：なぜ走り続けられた？ 再会した二人はどんな気持ち？

第7時 まとめ

- **ねらい**：物語を通して想像した心情を、自分の生き方や人間関係に結びつける。
- **中心発問**：「一番心を動かされた人物は誰？なぜ？」

進行の流れ

区分	時間	活動
導入	5分	これまで読んだ5つの物語を振り返る。
展開	30分	板書に5作品の心情一覧を並べる（ごん・大造じいさん・紳士・雪女・メロス）→ 中心発問 → ワークシート記入 → 発表。
まとめ	10分	心情を想像することで人に寄り添えることを確認し、「物語を読むことは、人の気持ちを考える練習になる」と締めくくる。

板書計画

心情を想像して、自分の生き方を考えよう

ごん：伝えられない思い

大造じいさん：敵への敬意

紳士：恐怖

雪女：信じたい心と裏切り

メロス：友情と信頼

一番心を動かされた人物とその理由は？

板書・ワークシート運用のポイント

- 板書は「出来事 → 心情 → 問い」でシンプルに整理し、出来事と心情を並べて可視化することで、学習者が自然に心の動きを追えるようにします。
- ワークシートは毎回 **本文 → 人物の心 → 自分の考え** の流れで整理します（キット03参照）。
- 単元の後後は、自分の経験や人間関係に引き寄せて書かせます。

著者：秋元進吾